

施策19 地域活力を担う水産業の振興

作成日：平成22年1月27日 主管課名：農林水産部水産課

19	地域活力を担う水産業の振興	水産課	漁業者 水産流通加工業者	漁協組合員数 水産加工業者数	漁業生産量・生産額を増やしてもらう。 水産流通加工出荷量・出荷額を増やしてもらう。	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
						82	100	156	94		成 96	成 96	成 96					
						10,224	14,025	16,194	13,042	t	成 12,226	成 12,098	成 11,971	業務取得	水産課	岩手県水産統計(1年遅れ)および漁協業務報告書(速報値)から把握 市内漁協総会後に把握(前年度数値)	22年度の目標達成に向け、市総合発展計画での課題でもある以下の取り組みを進めていく必要がある。 ・つくり育てる漁業の推進 ・水揚げ拠点の整備と高次加工への取り組みの強化 ・漁業後継者の育成・確保 ・平成22年度の目標値に関しては全ての成果指標において達成している。今後新しい魚市場の整備(H22年度完成)を予定しており、更に高い水準での目標設定が可能な状況にある。 一方で、半分が地元産の船であり、漁業資源及び漁業者の担い手の問題があり、マイナス要因もある。実際の施策としては、現状の高い水準を維持することを主としたものとなっている。	
						33,961	33,542	39,657	(39,657)	t	成 28,375	成 28,375	成 28,375	業務取得	水産課	農林水産統計(2年遅れ、採貝藻を除く)から把握 前年度数値		
						49,638	57,419	61,598	(61,598)	t	成 48,549	成 48,549	成 48,549	業務取得	水産課	東北農政局大船渡統計情報センターから6月に把握(1年遅れ) 調査がなくなった。企業情報のため把握できない。 前年度数値		
						52,223	53,587	54,894	67,853	t	成 40,761	成 40,761	成 40,761	業務取得	水産課	大船渡魚市場統計から5月に把握		
											成 48,549	成 48,549	成 48,549	業務取得	水産課	東北農政局大船渡統計情報センターから6月に把握(1年遅れ)	20年度の方針としては、予算を増加させ、成果の向上を図る施策として位置づけられているが、泊屋漁港整備事業費の減少等により、総コストは減少している。施策の成果については、向上傾向にあり目標は達成できなかった。 本市の漁業は、県内屈指の水揚げ量を誇り、漁船漁業、養殖漁業等が中心となっている。特につくり育てる漁業を推進しており、ウニ・アワビの増殖事業、ワカメ、ホタテ、カキ等の養殖を行っている。ワカメ、ホタテに関しては、県内生産量第1位となっている。 なお大船渡魚市場整備事業、漁港の整備事業において18年度からの繰越金の増があり、決算ベースではコスト水準は増加した。 単価と生産量が共に向上したことから漁業所得も向上したものと考えられるか？ 担い手の確保に結びついたか？ 地域の活力に結びついたか？(水産加工業における雇用拡大等) 基盤整備(魚市場、漁港等)の成果を記入願います。	

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 漁業資源の確保と漁場の管理	水産課	漁業者	漁協組合員数	漁業資源が確保されている	放流アワビ資源量	257	294	286	283	万個	業務取得	水産課	・三陸町管内アワビ生息調査(個/m ² ×漁場面積(ha))により算出。 ・数値は3ヵ年移動平均	放流アワビ資源量については286万個であり、平成9年度以降、毎年200万個以上を放流している。ウニの種苗放流は、平成18年度は1万個であったが資源量の増加から平成19年度は見合わせた。また、ヒラメの放流事業を支援している。 放流アワビ生息密度については0.36個/m ² であり、その年度の放流アワビの資源量に比例して増減している。	主な事務事業は以下のとおり ・アワビ増殖事業 平成9年度以降、毎年200万個以上のアワビの稚貝を放流している。 ・アワビ生息調査事業 アワビ生息状況調査、アワビ生態特性把握調査 ・県営漁場整備事業(野野前漁場の整備) 県が実施する漁場整備事業(野野前)に対し、その一部を負担している。
2 漁業経営の安定化と高付加価値化の推進	水産課	漁業者 水産流通加工業者 関係機関	漁協組合員数 水産流通加工業者数	安定して高く売れる	養殖主力産品出荷量	10,107	10,366	11,128	11,681	t	業務取得	水産課	・三陸ブランドとして定着しているワカメ、ホタテ、カキの出荷量を把握 17年度は漁協及び県漁連数値(ワカメは養殖年)	養殖主力産品出荷量は年々増加傾向にある。 水産加工については、ブランド化、加工品開発、販路拡大事業に対する支援を行った。 17年度は漁協及び県漁連数値(ワカメは養殖年) 管外水揚げ入港船数は1,151隻で年々横這い傾向にある。 三陸沿岸の魚市場は産地間競争の中にあり、水揚げ増強対策として漁船誘致活動を展開しており、サンマ、イサダ、サケ、マスに加え、近年はカツオの水揚げ量が増えている。大型船も増えているため1船あたりの水揚げ量が増加している。	主な事務事業は以下のとおり ・大船渡市魚市場整備事業 平成12年度に新たな魚市場の基本計画を策定し、平成16年度には基本設計を実施している。さらに県事業として平成19年度を完成目標として新魚市場予定地の埋立工事が進められている。 ・漁業経営構造改善事業 ・漁業共済掛金補助事業 ・水産経営活性化対策事業 漁業経営の支援として、衛生管理のできる処理施設整備、漁業共済掛金への助成等を行っている。 ・県営漁港基盤整備事業 ・漁港整備事業 市内には22の漁港があり、順次計画的に整備を行っている。(県管理漁港)大船渡、根白、崎浜、越喜来、綾里、門之浜(市管理漁港)野野前、蛸ノ浦、泊里、小路、泊、小石浜、砂子浜
3 漁業担い手の育成	水産課	漁業者 水産流通加工業者 関係機関	漁協組合員数 水産流通加工業者数	担い手が確保される	経営体数	1,006	975	(975)	(975)	体	業務取得	水産課	岩手県農林水産統計(2年遅れ)から3月に把握 県全体の数値は把握できるが、各市町村の数値は把握できない。 前々年度数値	経営体数については、平成8年度に1,246あったが平成18年度には975と10年間で271人減少した。 ・本市の沿海4漁業協同組合の平成20年度における組合員数は3,115人で、その内訳は、正組合員2,152人、准組合員990人となっている。また、就業者にあつては平成15年で1,978人で、そのうち60歳以上の占める割合は、47%(927人)となっており、漁業就業者の高齢化が進行している。 ・後継者の育成と新規養殖作物の開発支援を行っている。	主な事務事業は以下のとおり ・蛸ノ浦・甫嶺海づくり少年団育成支援事業 (河川における生物調査(甫嶺)、アサリ生息調査(蛸ノ浦)等、少年団活動に対する助成) ・担い手対策事業 (末崎中学校等が行うワカメ体験学習活動等への支援等) ・漁業集落環境整備事業等による下水道の整備(小石浜、砂子浜、千歳、蛸ノ浦)